





2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」


事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 福岡県 】

学校名【 嘉麻市立嘉穂中学校 】

1 実践テーマ	I・II・ <b>III</b> ・IV・V（複数選択可）
2 実施対象者 （学年・人数）	第1学年 56名 第2学年 67名 第3学年 68名 合計191名
3 展開の形式	【学校における活動】 ① 教科名：総合的な学習 ② 行事名：北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会
4 目標 （ねらい）	○オリンピック・パラリンピックを契機として、スポーツの価値や共生社会の大切さを知り、そのことと「嘉穂中人権基本法」の精神とを重ね合わせて人権尊重の精神を育てる。 ○夢の実現に向けて努力するパラリンピアン講話を聴くことや、車いすテニスの体験を通して、自分も新たなことに挑戦し、それを粘り強くやりとげようとする意欲を高める。
5 取組内容	<p>(1) 「北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会」観戦に向け国際パラリンピック委員会公認教材「I'm POSSIBLE」を活用した総合的な学習の授業</p> <p>(2) 3年生全員による「北九州チャンピオンズカップ国際車いすバスケットボール大会」の観戦</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(3) 2年生における、パラリンピック競技を題材とした「義足のアスリート」を使った道徳科での「公開授業」</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>(4) 「I'm POSSIBLE」嘉穂中人権集会(進行)人権専門委員会 ・ 講演「出会おう 感じよう パラリンピアンの方の生き方考え方」</p>

	<p>講師 川野 将太 選手 シーズアスリート所属 車いすテニスプレーヤー ロンドン・リオデジャ ネイロパラリンピック出場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 車いすテニス体験学習会</li> <li>• お礼のことは 生徒会長</li> </ul> 
<p>6 主な成果</p>	<p>○国際車いすバスケットボール大会を観戦しての生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 「選手が退場する時に笑顔で手を振ってくれたのもうれしかったです。」</li> <li>• 「テレビで見ていたものとは比べ物にならない迫力があり、車いすバスケに興味を持ちました。」</li> <li>• 「カナダ選手が倒れて起き上がれないでいると日本選手がすぐに寄り添っていたところを見て、違う国の選手への思いやりを感じることができました。」</li> </ul> <p>○講演と車いすテニス体験を通しての生徒の感想</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 健常者と障がい者という違いがあっても、スポーツをすることはとても大切なんだということが、身にしみて分かりました。</li> <li>• 東京パラリンピックへの関心が高まりました。2020年の東京パラリンピックをしっかりと応援していきたいと思いました。</li> <li>• 「失ったものを数えるな」と言われました。でも私はたぶん数えてしまいます。でもその度にあきらめずに頑張りたいです。生徒の感想には「あきらめない」「挑戦」「勇気」「思いやり」等の言葉が数多くみられた。そのほかにも、車イスでのプレーを体験してその大変さへの感想や、周囲の人々の支援やかかわりの大切さへの気づきが数多く見られ、概ねねらいは達成できた。</li> </ul>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○「I'm POSSIBLE」の教材は、動画やワークシートもすぐに活用できて、非常に効果的であった。</p> <p>○パラリンピアンを招いての講演・体験学習を、本校の「嘉穂中人権基本法」をもとにした人権集会として計画し、人権専門委員会の生徒たちが進行等を担当した。</p> <p>○筑豊緑地より競技用車いすの借用を行った。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○本校の立地等の条件を考えると、パラスポーツに触れる機会に限られる。その中においても、車いすテニス大会等、種目や参加の形態を広げて、今後も生徒がパラスポーツに接する機会を設けていきたい。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○引き続き、保健体育科はもとより、総合的な学習の時間や道徳科等での学びの機会を連携させ、一連の実践として内容を作成する。その中でも生徒による人権集会の実施など、本校が掲げる「嘉穂中人権基本法」と、それをもとにした人権尊重精神の育成などの目標にせまる実践を作り出す。</p>

